

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

2018-2019年度 国際ロータリー会長 バリー・ラシン



2018-2019年度

会長: 榎野智之 幹事: 石川一郎 クラブ会報委員長: 服部雅紀

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ホテルナゴヤキャッスル 名古屋市区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2019 March 13

■ 2018~2019年度方針
ロータリー友情を育み、絆を深めよう

NO.32

例会報告

●第2258回例会 平成31年3月13日(水) 晴

●3月は水と衛生月間

●乾杯 中条忠直1985~86年度会長

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 87 (81) 名中 出席62名

出席率76.54% 修正出席率72.86%
(2月27日分)

●ニコボックス

「名古屋和合ロータリークラブ創立47周年記念例会
を迎えて誠におめでとうございます。」

中条忠直君、宮崎卓也君

「本日、47周年のおめでたい例会に木本さんに安全
工学について卓話をして頂きます。楽しみにして
おります。」 山本秀樹君、間地 寛君

「来週3月18日より当社運営スペインサラマンカ大
学日本文化センターにて天皇・皇后展を開催の為
スペイン出張します。これは宮内庁からの要請に
よる文化事業です。」 谷 喜久郎君

「18歳と81歳の違い。」

※恋に溺れるのが18歳 風呂で溺れるのが81歳

※道路を暴走するのが18歳 道路を逆走するのが
81歳

※心がもろいのが18歳 骨がもろいのが81歳

※偏差値を気にするのが18歳 血圧・血糖値を気
にするのが81歳

※まだ何も知らないのが18歳 もう何も覚えてい
ないのが81歳

※自分探しをするのが18歳 皆に自分を探しても
らうのが81歳

※東京オリンピックに出たいのが18歳 東京オリ
ンピックまで生きたいのが81歳」 鷺塚貞長君

「3月10日(日)名古屋シティマラソンに参加ハー
プ21.095キロ雨の降る悪条件でしたが余力を残
し、完走する事が出来ました。応援ありがとうござ
います。」 横井辰幸君

「前回の例会時に私語をしまして、申し訳ございま
せん。以後私語を慎みます。反省、反省。」

黒田史郎君

「名古屋和合ロータリークラブ47周年おめでとうご
ざいます。本日記念卓話をいただきます木本さん
ありがとうございます。再来週の夜間例会にて
チョンチョンを行いますので宜しくお願いま
す。」 ニコBOX委員会一同

本日のニコボックス 7件 23,000円

累 計 177件 1,357,150円

石川一郎幹事報告

▽当クラブ行事予定

・3月20日(水) 例会終了後、理事会を開催致し
ます。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

・3月27日(水) お花見夜間例会

※時間は18時~、場所はホテルナゴヤキャッス
ルです。

※お昼の例会はございません。

・4月4日(木) 6RC合同例会(12:30~)

※名古屋東山RCがホストのため、曜日が変更

になります。

※場所はホテルナゴヤキャッスルです。

※4月3日(水)の例会はございません。

- ・4月17日(水) 例会終了後、次年度クラブアッセンブリーを開催致します。

※次年度の理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は、代理の方のご出席をお願い致します。本日、次年度クラブアッセンブリーのご案内を配布しております。

榎野智之会長挨拶

本日は我が名古屋和合ロータリークラブ創立47周年記念例会でございます。1972年3月15日の創立以来、47年間を無事に迎えられましたことは大変喜ばしく存じます。

本年度は『友情を育み、絆を深めよう』を会長方針とさせていただきます。職業奉仕を再認識し、クラブ奉仕についても例年以上に力を注いできたつもりでございます。

今、こうして名古屋和合ロータリークラブのクラブライフとしての恩恵を享受できますのもひとえに創立以来チャーターメンバーをはじめとする先輩諸兄が築かれた功績、そして御努力の賜物と心より感謝を申し上げます。

本日の記念例会では、会員の木本さんから「安全工学」という、特に環境についての卓話をしております。

創立50周年を3年後に控え、華やかな祝宴はその時まで楽しみにしながら、本日はささやかに皆さんとお祝いしたいと思います。

では、どうぞ宜しくお願い致します。

卓話

「火事」逃げよ

会員 木本 三夫

安全工学は災害を三つに分ける。一つには地震・雷・津波の様に未知の分野、次には現在の環境問題の様に法律を作れば解決がつくもの、三つ目には法律があっても人間のミスで生ずる火災・自動車事故等。



先回は地震の話、今回は火災の話を見せて頂きます。

火災とは燃焼であり、燃焼は熱と光を出す烈しい酸化反応です。火災時に酸素が無くなる現象を実験を以て説明します。実験(1)は鉄を燃焼させる。酸素が多くなると鉄でも燃える。実験

(2)は、火の着いたローソクを水の上に浮かせ、ビーカーをかぶせることにより、ビーカー内は酸素が無くなって火が消える。酸素が無くなることを、ビーカー内に水が吸い上げられる様を見て確認して頂いた。実験(3)はスイスアルプスでの私の体験である。登山電車等で登った酸素の少ない地点での動作感覚を述べた。人間が苦しくなるのは、酸素濃度ではなく、炭酸ガスの血液中の濃度による。そのため酸素が薄くなっても苦しくない。ただ手足、身体が動きにくい。脳は酸素が巡って健全である。

寒い冬には暖をとるが、ミスをするると火災となり一大事である。火災のニュースには人身事故もついてまわる。火災の際は酸欠が生じ、苦しく、手足は動かず、その場に崩れて焼死に至る。

異常を感じたら、先ず窓なり戸なりを開いて外の空気を室内に入れ、それから状況判断をして動け！逃げる途中に一息したら死に至る。そのまま外へ逃げるのが肝要である。

メディアは一酸化炭素中毒を強調するが、酸素欠乏状態の中で長時間呼吸をしていると、一酸化炭素がたとえ少なくとも人体は一酸化炭素中毒となる。

例会	月日	今後の予定
第2259回	3.20	美術評論家 岩佐倫太郎氏
第2260回	3.27	お花見夜間例会 18:00~ ホテルナゴヤキャッスル (お昼の例会はございません)
第2261回	4.4	6RC合同例会 12:30~ ホテルナゴヤキャッスル (名古屋東山RCホスト) (4/3(水)の例会はございません)
第2262回	4.10	会員 夏目 稔君 「和合RCと私」
第2263回	4.17	弁護士 山本公亮氏

○このウィクリーは再生紙を使用しております。